



# 福祉と住環境を考える ふくてっく

2003年7月  
第53号

特定非営利活動法人  
ふくてっく

559-0034大阪市住之江区南港北2-1-10 ATC ITM棟 11F Iビル  
TEL/FAX 06-6614-6800 ホームページ http://www.osakacity-vnet.or.jp/link/hukuteku/

5月定例学習会  
平成15年5月10日 (土)  
松本 勝正氏 \* \* \*  
2002年9月より国営  
明石海峡公園事務所長。  
1996、99年経企庁にて  
NPO法制定に関与。和歌  
山大学助教授時代に「わか  
やまNPOセンター」の設  
立。現在「あいな里山サロ  
ン」の推進。  
まずどういふ経緯でNPO  
法の制定に関わる事にな  
ったかという点、私は元  
来、街づくりとか公園整備  
といった、的な都市計画、  
つまりハードに取り組んで  
いた。それが、たまたま  
飛鳥里山クラブの設立にあ  
たって活動し、シニア大学  
の長井氏とも知り合った。  
思えば、これが私が初めて  
関わったボランティア、N  
POであった。



## NPO法案制定 にかかわって

その後、筑波へ戻って  
たところ、急遽経済企画庁  
へ出向して、ボランティア  
支援を担当する事になっ  
た。  
約2年半の間に、議員立  
法という経緯を経てNPO  
法が成立するまで関わるわ  
けだが、経済企画庁という  
省庁はいわば寄せ集めの組  
織で、室長は農水省、補佐  
の私は建設省、係長は労働  
省と文部省といった具合で  
あった。また当時の経企庁  
は、消費者行政などを担当  
していて、政治との関係  
や利権の背景が薄い。従っ  
て、他の省庁なら政治や利  
権がらみのハードルが高く  
て何かと難しいのだが、経  
企庁では比較的自由に行  
動できたのである。  
いつ頃からこのようなボ  
ランティア活動支援が議論  
されるようになったかとい  
うと、平成7年の震災の前  
年に、国民生活審議会が市  
民の社会参加の意義とその  
支援の必要性を指摘した事  
に始まる。それが平成7年  
の震災を契機に経企庁を窓  
口にして関係省庁が連絡会  
議を設ける事が決まり、本  
格的なスタートをみただけ  
である。  
私が経企庁に赴任した平  
成8年には、実は既にNPO  
法案の骨子は、宗教法人

法をベースとして出来上  
がっていた。ところが、  
当初案が野党提案であった  
事や、一体どんな団体が手  
を挙げるかが見えない事も  
あって、急いで法制化しな  
いという空気の中、やがて  
議員立法として提出する事  
となった。議員立法とはい  
え、もちろん私たち官僚が  
バックアップして法制化を  
進めるのだが、この間様々  
な人が関わることになる。  
「NPO法は私が作った」  
という人が極めて多いのは  
この為であるが、それは今  
にして思えば大事な事であ  
った。  
ちなみに、NPO法にあ  
る活動分野の「限定列举」  
は、実は民法改正を伴わず  
に済ませる(特法扱いと  
する)ための、いわば法制  
定のテクニックであり、活  
動分野としては実態上なん  
でも読めるようになってい  
る。  
とにかく、100%完成  
されたものができたわけで  
はなく、やりながら完成し  
て行くものである。これか  
らどう変えて行くかが課題  
だ。  
その後、突然和歌山大学  
へ赴任する事になり、NPO  
法制定に携わっていた経  
歴もあって、わかやまNPO  
センターの立ち上げにも

関与する事になる。NPO  
センターとは、NPOを支  
援するNPOであるが、わか  
やまの特徴は完全な民設  
民営であること。例えば始  
めにできた神奈川は官設  
官営だし、大阪は民設とい  
え社協というベースがあ  
る。わかやまは全くベース  
がないから、人を雇う金さ  
えもない。しかし人の信頼  
性という点、ネットワーク  
全体の人間関係が目に見え  
るといふ安心感があった。  
やがて、事務局に志場さん  
という人材を得て、あつと  
いう間に形ができてきた。  
その他、多くのメンバーが  
集まって、本当に人はい  
るものだとつくづく思った。  
ところでNPOとは何だ  
ろうか?一言でいえば、  
「しろうとが社会変革をす  
る装置」である。だいた  
い、くろうとというものは  
専門性は高いが、専門領域  
は狭いもの。これに対し  
て、NPOでは素人であ  
る会員が同時にサービスマ  
ンとして意見交換に始ま  
り、人材・技術・手法・  
ネットワークの育成、そし  
て市民による市民のための  
国営公園を運営する主体づ  
くりをめざしている。かつ  
て、こうした広範囲に及ぶ  
ネットワークは、大学の先  
生、あるいは財界が担って  
いたものだが、これからの  
社会では、その担い手とし  
てNPOに期待が集まって  
いる。NPOどうしの連携  
がますます重要になってい  
るのだ。

組織における理事会は会  
のミッションを考える核で  
ある。一方、会の経営を考  
える中核としての事務局が  
確立されねばならない。企  
業や社会福祉法人等では事  
務局は理事会に付属するも  
のだが、NPOでは「対等  
のパートナー」であり、場  
合によっては事務局が理事  
を入れ替えるという事もあ  
り得るのだ。  
今、私は明石海峡公園事  
務所に勤務しているが、  
そこでは「あいな里山サロ  
ン」という立ち上がったば  
かりのグループが活動して  
いる。いくつものサロンが  
あって、多くのグループや  
人が、行政や専門家とも対  
等の関係で集い、市民が主  
体的に創る「公園」をテー  
マとして意見交換に始ま  
り、人材・技術・手法・  
ネットワークの育成、そし  
て市民による市民のための  
国営公園を運営する主体づ  
くりをめざしている。かつ  
て、こうした広範囲に及ぶ  
ネットワークは、大学の先  
生、あるいは財界が担って  
いたものだが、これからの  
社会では、その担い手とし  
てNPOに期待が集まって  
いる。NPOどうしの連携  
がますます重要になってい  
るのだ。  
(記 中北 清)

## 定例会のお知らせ

定 日 9月 8月  
場 所 9月6日(土) 午後1時 30分~5時  
大阪府立社会福祉センター 会議室(予  
休会)  
講 師 「街づくりは人づくり」  
岡村 悦治 氏



今回、半分受講生として  
参加させていただきまし  
た。内容は福祉の考え方、  
高齢者・障害者の疾患と障  
害特性、住環境整備、福祉  
用具など幅広くたいへん  
ですが、試験を受けるとい  
う

講座開催の報告  
福祉住環境  
コーディネーター2級  
検定試験対策講座  
高齢者、障害者そしてす  
べての人々が、安心して楽  
しく生き生きと暮らしてい  
けるように、いま住環境を  
考える人材は重要です。  
ふくてっく研修部は、6  
月26日に実施された「福祉  
住環境コーディネーター2  
級検定試験」を受験される  
方を対象にした対策講座を  
主催。  
4月2日~5月2日の土曜  
日、1日6時間、全6回の  
集中講座を終了しました。  
受講生は約20名、女性が多  
くみなさん熱心でした。  
個性豊かな講師陣(杉  
浦、野山、山本、畑、清  
水)に、内容充実の資  
料、小テスト、そして内緒  
(?)の試験必勝法も教わ  
り、受講生のみなさんの期  
待に応えられたと思いま  
す。

6月2日(土) 梅雨晴  
れ間の一日、外部での作業  
にはまず、よしよしのコン  
ディション。施設の皆さん  
や佐藤施設長の奥様に迎え  
られ、さっそく作業開始。  
木製ボックスの方はコン



ことをして、学ぶこと、  
学んだことに大きな意味が  
あると思えました。これか  
らの人生にきつと役立つで  
しょう!  
正しい知識、確かな技  
術、そして『優しい気持ち  
ち、相手を理解するやわら  
かな心』を持ったすてき  
な福祉住環境コーディネー  
ター目指して、私も2級取  
得をがんばりまーす。

後片付けを終え、いよ  
いよ楽しみのひと時、佐藤  
施設長を囲んで「カンパ  
イ」。これがまた最高!  
いるとお心づくしをいた  
だき、本当にありがとうございます。  
本日の作業メンバー 井  
上さん、前倉さん「ご協  
力ありがとうございますま  
した」。ふくてっく 杉浦、  
立溝、池端、午後より松  
本、長岩。  
ここ、やすらぎの丘・

パネの板取り、補強材の寸  
法合わせ、組み立て、ネジ  
止め、そして仕上げに防  
腐剤ペンキ塗りの工程。30  
立方の箱は結構デカイも  
のです。一方、ワイド形ス  
チール棚の組み立ては、倒  
なネジ・ナット止めが数多  
く、簡単そうではなかな  
かどらぬ、とうとう本日  
参加の全員が作業にわり  
わりと参加。  
講師のみなさま、コー  
ディネーターの清水さん、一  
緒に資料作成、受付をした  
山岡さんありがとうございました。  
(研修部 池側恵美子)



たかとりボックスは知的  
障害を持つ方々のための  
施設として今年4月奈良  
の飛鳥にオープンしまし  
た。自然いっぱい環境  
に溶け込んで、ほっとす  
る建物です。館内は木の  
やさしさをいかしたくつろ  
ぎのスペースもたっぷり  
設けられています。飛鳥の  
散策を兼ね、一度訪れてみ  
てはとおすすすめ致します。  
(記 池端 一義)



芦屋市 N邸 71歳 女性  
 A 玄関から門までの外部手摺工事。鉄平石の変則階段。  
 B 依頼者は「71歳の女性。要介護1。夫76歳と二人暮らし。若い時に肺炎にかかり、以後虚弱体質で、短期の入退院の繰り返し」。  
 C 屋外用樹脂手摺を取付ける。  
 D 夫婦共安心して階段を利用出来る感謝される。簡単な工事だと思っていたら、石の下が土だった。アンカーが利かずかなり苦戦するも、後藤氏とベテラン大工さんの経験を生かし、無事に完了。私もうい勉強

# 住宅改修事例報告

- A 依頼内容
- B 日常生活と家庭状況
- C 解決方法
- D 改善後の状況と考察

になりました。  
 身近な方からの工事依頼があれば、これからもふくてつくにお願いしたいと思えます。  
 (記 所 浩)

- 初期診断 山本尚子・高木敏裕 (アトミック・リゲイン) 平成5年(2004)月4日訪問
- A 対象者はマンション4階に一人暮らし。以前或る工務店に、浴室内に手すり設置を頼んだところ、思うように行かなかつた経緯があつて、大阪市に相談すれば安心と考え、ボランティア情報センターに直接電話にて相談。
- ① 6畳の和室の一部(2畳)を板の間にしたい。(TV台のキャスターのせいで畳がボロボロになっている) ② 押入に、棚を取り付けたい。③ 高齢なので、その他アドバイスがあれば・・・というもの。
- B 高齢なのだからとなく



スリッパ立て

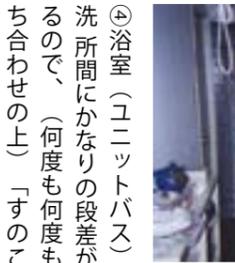


居間の棚

お元氣。(身体も口も)週1回水泳に行き、時間が空けば訳(英語) ボランティアに走り回っておられる。カナダに深いかわりがあつて、夏の間は3ヶ月間毎年カナダで過ごすとのこと。介護認定は受けておられなかったが、膝に痛みがあるのが現在、院中と聞いて、介護認定を受けるよう勧める。結は「要支援」判定となった。  
 C 希望箇所と内容が二転三転し、初期診断から工事内容決定までに6ヶ月かかった。経緯と内容は以下のり。

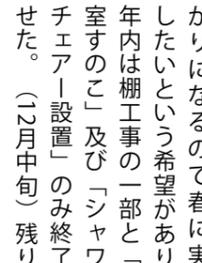


スリッパ立て

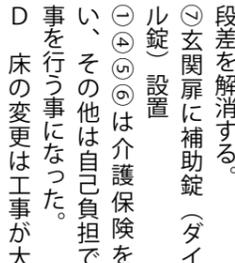


居間の棚

②和室は当初2畳だけ板の間に変更希望だったが、最終的には和室6畳全てと、DK及び廊下までフローリングに変更となった。  
 ◎棚は押入内だけでなく居間や玄関にも数箇所。手持

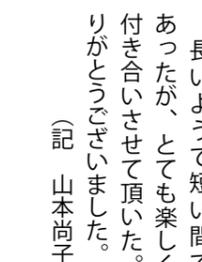


スリッパ立て

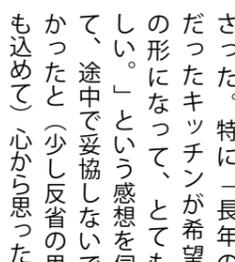


居間の棚

④浴室(ユニットバス)と洗所間にかかりの段差があるので、(何度も何度も打ち合わせの上)「すのこ」と「手すり」で解決を図る。  
 ◎浴室すのこ」について  
 「浴室すのこ」については、導入する時にメンテナンスの手間を懸念されていたが、やはり重くて動かさないとのこと。年明けに伺ったときは外してあつた。  
 途中打ち合わせ不備などで気分を害されたこともあつたようだが、全工を終了の際は非常に喜んで下さつた。特に「長年の夢だったキッチンが希望の形になって、とても嬉しい。」という感想を伺つて、途中で妥協しないで良かったと(少し反省の思いも込めて)心から思った。長いようで短い間ではあつたが、とても楽しくお付き合いさせて頂いた。ありがとうございました。



スリッパ立て



居間の棚

工事も3月の「国際水フォーラム」の期間はボランティアで忙しいのでそれが終了してからということになり、最終的に工事終了は4月下旬となった。  
 棚板は自分で塗装するとおっしゃつたので、私のところにあつた自然系塗料と刷毛を後日届けたところ、「取り扱い説明を熟読して触るのが怖くなった」と連絡が入り、結局出向いて一緒に塗る事になった。  
 「浴室すのこ」については、導入する時にメンテナンスの手間を懸念されていたが、やはり重くて動かさないとのこと。年明けに伺ったときは外してあつた。  
 途中打ち合わせ不備などで気分を害されたこともあつたようだが、全工を終了の際は非常に喜んで下さつた。特に「長年の夢だったキッチンが希望の形になって、とても嬉しい。」という感想を伺つて、途中で妥協しないで良かったと(少し反省の思いも込めて)心から思った。長いようで短い間ではあつたが、とても楽しくお付き合いさせて頂いた。ありがとうございました。



# 健康セミナー

6月定例学習会  
 平成5年6月7日(土)  
 訪問リハビリ研究センター (有) ゆとりすと代表  
 西村 久代 氏

\* 健康とは一体なんだろう。健康すぎるというのは実は不健康。過信は禁物です。人にはそれぞれの健康があり、健康でなくなる事はすぐに病気になるという事ではありません。自分なりの健康を考えて下さい。特に注意したいことは「酸素飽和」です。体の筋肉にどれだけ酸素が吸収されているか、という事です。ストレスがたまると、酸素飽和が低下します。いい状態に保つには血液の循環がよくなければなりません。

健康を損なうと何が大変かと言え、まず経済です。お金がかかります。反対、お金はあまり貯めると、贅沢をしたり健康によくない事が多いから小銭は貯め込まない、どんどん使ってしまう方が健康によろしい。世の中も元氣になります。男と女の違いもあります。今、平均寿命は男性が80才、女性が85才です。しょう。だいたい、仕事をしすぎて死のは男ですが、仕事で亡くなった死の男。男はいつも遠くを見てるのでしょね。倒れて、寝たきりやおむつを使

うようになると、これが大きなショックで立ち直れない。もうダメだ、とすつかり意欲をなくしてしまう。その点、女は違います。今日死のうかなんていいながら、さて今夜のおかずはどうしようかと考えたりします。男性は現実の自分を認められない事から呆けるが(年齢退行が見られる)、女性はなにくそと立ち直る。この、なにくそというフアイトが大切で、血圧を高め血行を促進しているのです。だから、女性は簡単には逆さません。

人は勝手に寝たきりにはならないものです。寝たきりは作られているのです。人の体は重力に抗してまっすぐに立つようにできています。沢山の筋肉がバランスをとって絶えず働いている。そして筋肉が第2のポンプとなって血液を循環させている。だから寝たきりになると、筋肉は働かず、ポンプの機能を失い、血行が悪くしてしまふのです。

立つことができなくとも、まず座ることです。寝ているのでは、世界が変わる。実は座る事さえできれば、立つこともできるのです。そして、そこにポータブルトイレがあれば、自分で用もたせる。車いすに乗れば移動もできる。ですから、住宅のバリアフリーが重要な課題となります。和式よりベッドがいいのは、介護のしやすさもありますが、座ることを実現しやすいためです。また玄関にバリアがあるかどうかで、外へ行けるかどうか、それはもう大変な違いです。

介護には2つのパターンがあるようです。ひとつは元氣になりたい、させたいというパターン。もうひとつは楽になりたい、させたいというパターン。後者は一見優しいよう(よくできた嫁タイプ)で、実はこれが怖い。たちまち、衰弱して逝つてしまいます。元氣にさせるには、とにかく筋肉を動かすこと。ベッドの背を起こして頭を上げるだけでもいいのです。さきほども言いましたように、筋肉があつて骨が動きますが、骨はまた多くの関節によってつながっています。ですから、関節の使い方方で筋肉をコントロールする事もできます。そんな仕組みを理解してうまく使えば、ちょっとしたことで筋肉を働かせ、心身のリラックスと血行の促進を可能とします。とりわけ足が重要です。寝ていても足の状況如何では(指先を天井に向けて)血行を保つことができる。足さえ血行がよくなれば全身の血行がよくなるのです。